

言語機能支援アプリケーション

KOTOREHA

コトリハ

「AVSS」機能による
発話機能の促進

自宅などでの
自主トレーニングが
可能

オリジナルの
ことばを生成可能



システム概要・構成

Windows10以降で使用可能なアプリケーション形式
※内臓カメラ・スピーカー推奨
(ない場合は外付けUSBカメラ・スピーカー別売り)
※ソフトウェア単体での販売

OS: Windows10/11
CPU: Intel Core i3以上
メモリ: 4GB以上
HDD又はSSD残量: 100GB以上

本機器は、厚生労働省令和3・4年度障害者自立支援機器等開発促進事業の助成の元、開発を実施されました。

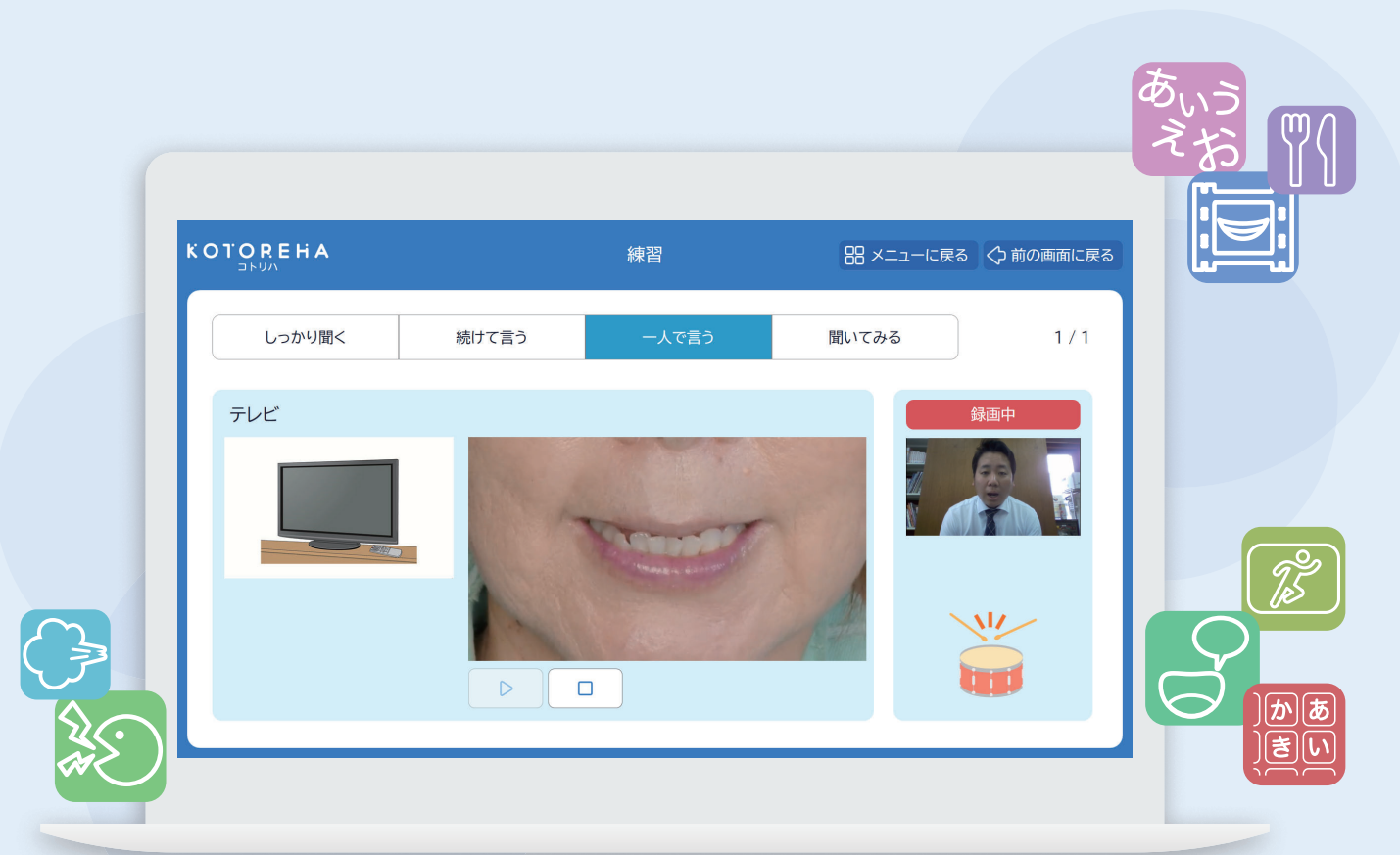
【共同研究機関】愛知学院大学 名古屋市立大学

取扱店



製造販売元 シスネット株式会社

〒530-0051 大阪市北区太融寺町2番18号9F
TEL.06-6364-0554 FAX. 06-6364-2759
Mail: healthcare@sysnet.co.jp



ABOUT
KOTOREHAについて



KOTOREHA(コトリハ)は、自主的な言語訓練を集中的かつ継続的に実施でき、ADL向上を促すコミュニケーションツールとしても活用可能なシステムです。

発語失行の方を対象としたシステムとなっており、約4000語の**ことば**を、口型動画・音声・絵カードを用い、トレーニングすることが可能です。自宅などでの自主トレーニングにも活用でき、練習強度を高め、コミュニケーション機能の向上を促します。

また、「最寄りの駅名」などのオリジナルの**ことば**を生成することができ、コミュニケーション支援ツールとしても活用可能です。

トレーニング機能

口型動画・音声・絵カードを用い、斉唱→復唱→自発話の流れでトレーニングを実施します。さらに、かな一文字から語句を検索可能となっており、集中的にトレーニングができます。

訓練



一般的な言語療法でも広く使われている**アクトカード1~5巻** **動作絵1コマ/2コマ(エスコアール社製)**などの**ことば**を搭載しています。

ホームワーク



患者様毎に語句を選択でき、自主トレーニングで活用できます。トレーニングのデータは保存され、後から確認することも可能です。

FEATURE
KOTOREHAの特徴

1 「聴覚-視覚発話刺激(AVSS)」機能による発話機能の促進

口型動画・音声・絵カードを用い、音声刺激と視覚口型刺激をシンクロさせ、2つの感覚刺激情報を同時に提示する「聴覚-視覚発話刺激(AVSS)」機能により、発話機能を促進させることが可能です。

2 自宅などでの自主トレーニングが可能

言語聴覚士の人員不足や、リハビリテーションの時間的制約があり、十分な言語治療の機会が極めて限定的の中、タブレットのみで自主トレーニングが可能です。

3 オリジナルの**ことば**を生成可能

ご家族の名前や最寄りの駅名等、オリジナルの**ことば**を生成し、コミュニケーションノートの用途としても活用可能です。

ことば袖



単語から短文まで段階的に要素数を増やし、トレーニングします。ことばのレパートリーを増やすことで、コミュニケーション機能向上を促します。

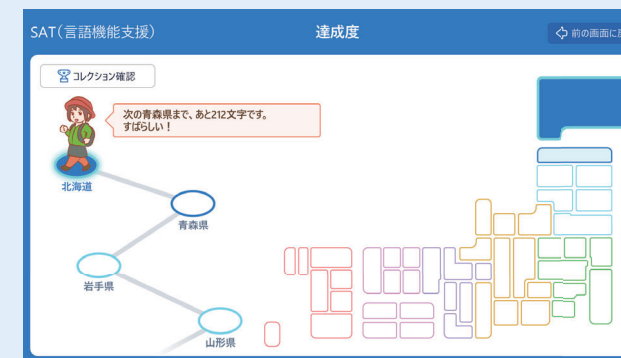
ことばづくり



利用者によってオリジナルの名称、例えば家族の名前・近隣のバス停の名前等の固有名詞を作成することができます。口型動画と共に写真も登録可能となっており、訓練のみならず、コミュニケーションノートとしても活用可能です。

トレーニングフィードバック

自主的な言語訓練を継続的に実施できるようにロードマップ状で達成度を可視化します。



達成度ロードマップ



ご褒美シールコレクション